

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(9/20)

文：武田、写真：

日時：2020(令和2)年9月20日(日) 9:30～16:00

気象：薄曇り(24℃)

活動エリア：44林班は一02

活動内容：倒木除伐、林床整備、作業道整備

参加者：猪川 誠、石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山 國
会員9名

<エイリアン ダンダボロギクの侵入>

三ヶ年の整備計画エリア中、「44林班は一02」の谷は一年ぶり。前年の台風の被害大で根起こし・道崩れ等々、まだまだ作業が必要。来月下旬には「さとり地域協議会」の活動地訪問予定があり、その際、一带の状況も実感して貰おうと言うことで、中径木以上はチェーンソーに抛ることにして”勇躍”現地へ。水源地向進につれ、表土は砂地が増え、其処此処、**ダンダボロギク**が咲き残る。帰化植物で、草丈50～150cm。8-10月に薄黄色の花を咲かせる。山地、林縁、道端、公園などに育つ。1933年、愛知県段戸山で初めて記録され、これが和名の由来。**大群落になるので要注意**。毒性アリ、鹿も忌避するとか。

<今日の成果>

倒木は根起こしが多く、中径木以上の15～6本を処理。**チェーンソーは幹に噛んだり、チェーンが外れたり**の難行苦行で要処理木はまだまだ多数。崩れて本山寺への給水管が露出した作業道は土留めして土を被せ約10mを整備。この間、一名は小屋に残り、作業台の修復に従事。

山の自然は**ダンダボロギク**と体長5cm弱の**カナヘビ**(トカゲに似ているが尻尾の割合は全体の2/3、トカゲは1/2)。

<写真編①>



<写真編②>

【土留め用に道に下ろす】



【玉切りを引きずり下ろす】



【崩れ落ちた作業道と露出した給水管】



【給水管を埋め戻し、覆った上に道の新設】



【タンダホギク：発見次第、抜き取る。後は地面に捨てない】



【カナヘビ：トカゲより長い尾っぽが特徴】

